

宇土市地域学校協働活動便り

「結」

No.2

R5.5.10
発行

宇土市教育委員会
生涯活動推進課
生涯学習係
文責：中村 敬人
TEL 0964-22-6510

早速、活動がスタートします！

先月の学校訪問、大変お世話になりました。おかげさまで、各学校の本年度の活動について把握することができました。すべての活動について、直接関わることは叶いませんが、出来る限りより多くの活動に接したい（取材等）と考えていますので、事前にご連絡をいただければありがたいです。

さて、今月から各学校において活動がスタートします。主な活動は以下の通りです。

○宇土小：玉ねぎ収穫（3年生）

◆ほとんどの小学校→米作りの準備開始

○花園小：玉ねぎ収穫（4・5年生）【4月末に実施済】 ジャがいも収穫（2年生）

○宇土東小：ジャがいも収穫（6年生） さつま芋苗植え（1・2年生）

○緑川小：さつまいも苗植え（全児童）

○第1回運営委員会 25日（木）10:00

今年度は、地域学校協働活動推進員の配置が、昨年度より1名増の6名体制となりました。今年度一年間ボランティアの皆様、そして、推進員の方々には大変お世話になります。

「地域活動に子どもたちが参画」

4月21日（金）に走湯小学校区の活動取材に行きました。取材した内容は、ホタルの町づくりを目指して、ホタルの幼虫（平家ホタル）を学校近くの水路（「蛭が飛び交う環境学習水路」）に放流する活動でした。

これまでの地域学校協働活動は、学校での子どもたちの活動を地域住民が支援するのが主でしたが、今回の活動は地域住民の活動に子どもたちが参画する活動でした。言わば、学校から地域へ向かって発信する活動となっている点が、従来の活動と少々違う点です。つまり、地域と学校が双方向から取り組む活動となっているのです。地域の一体感を感じる取組と言えます。

子どもたちの意識が、「してもらってる」から「一緒に取り組んでいる」へと変容して行く様が十分期待できる取組です。子どもたち自らが主体性をもって取り組むことで、未来の郷土を担う人材が育つような予感がします。

また、この活動を企画された「グリーンはな走会」の方々の子どもたちに注がれる熱い眼差しに将来の郷土を託されている思いが伝わってきました。そして、何より、「はな走会」の皆さんご自身がこの活動を楽しんでおられるように感じました。

かなり難しい取組のようですが、数か月後にこの地にホタルが飛び交い、子どもたちを含めた地域の皆さんが嬉しそうにその様子を眺めておられる光景を期待したいと思います。

地域学校協働活動は、学校と地域が協働・連携して双方向で取り組む活動です。